

第3章

山武市が目指す景観づくり

～20年、30年先を見据えて～

3-1 景観計画の区域

山武市において景観づくりを進めていく上では、市域全域にわたって良好な景観の形成を図る必要があります。そのため、景観計画に基づき取り組みを進めていく範囲を山武市全域とします。



3-2 理念

久々に 家帰り見て 故さとの 今見る目には 岡も河もよし

この歌は、山武市を代表する歌人の伊藤左千夫が、明治の時代に久々に故郷山武を訪れた際に、改めて山武の景観の良さをうたったものです。

「岡も河もよし」とあるように、山武市には山から海まで風情ある様々な景観が広がっています。

山武市の景観は、地域に暮らす人々の生活と共に育まれてきました。

生活に寄り添うように豊かな自然が残る山武の景観には、久しぶりに故郷に戻ってきた人に限らず、訪れた人の心を落ち着かせる魅力があります。

山武市景観計画の策定をきっかけに、かつて伊藤左千夫が詠んだこの歌のように、『いつ見ても山武の景観はホッとする、心地よい』と思えるような景観づくりを進めていきたいと考えています。

そのためには、私たち一人ひとりの景観に対する意識や協力、そして何より、人々が景観に関わり続けることが欠かせません。

その意味を込めて、計画に掲げる理念を以下の通りとします。



3-3 目標

理念に掲げた「未来へとつなぐ さんむの景観」の実現に向けて景観づくりを進めるための目標を次の通りとします。

目標1 想いをつなぐ

景観づくりは、山武市に暮らす私たちが、普段の見慣れた風景を“良い景観”として認識することから始まります。丘陵や田畑や海などの自然に囲まれて生活している環境や空気の美味しさなどは、都心では感じることでできない大きな魅力です。また、こうした景観がどのような歴史や文化の中で形づくられたかを知ることで、更なる魅力を発見することができます。

そこで、山武市に暮らす誰もが、景観を身近に感じ、景観を取り巻く状況を知りながら、次の世代へさんむの景観をつないでいけるよう、“想いをつなぐ”を目標に掲げます。



目標2 人と人をつなぐ

山武市の景観づくりには、槇の生け垣や庭先の草花の手入れなど日々の生活の中で行っていることや、サンプスギの森の再生や河川沿いの花植え、九十九里海岸の保安林の植樹等の熱心な活動が含まれます。

また、個々の取り組みに加え、地域の外から来る人（風の人）と地域に暮らす人（土の人）とが交流する中で、『風土』として、より良い景観を創出していくことも大切になります。

そこで、山武市の景観づくりに関わる人々をつなぎながら、より大きな景観づくりの流れを創り出していけるよう、“人と人をつなぐ”を目標に掲げます。



目標3

なりわい
生業をつなぐ

かつて、九十九里浜で鰯漁に使う材木確保のために丘陵地でサンプスギの植林が行われ、平野部で農業を営むための防風対策として家々の周囲を屋敷林で囲うとともに海岸沿いに保安林の植樹が行われるなど、人の手が加わりながら自然と共生した生活が営まれてきました。

そして、今日に至るまで、林業や農業を通じて丘陵地のサンプスギの森や平野部の田園風景が保たれてきました。

このように、山武市の景観づくりは、これらの生業が大きく関わっていることを認識した上で、進めていくことが大切になります。

そこで、想いをつなぎ、人と人をつなぎながら、生業に基づく自然や生活の景観を次の世代につないでいけるよう、“生業をつなぐ”を目標に掲げます。



3-4 方針

(1) 類型別（景観資源の目指す姿）



【水・緑】

自然を保全しつつ、新たな魅力をつくる

- ・河川、用水路とともに今日まで受け継がれてきた九十九里平野の田園景観の広がりやつながりを活かした景観形成を図ります。
- ・豊かな自然環境と生態系に恵まれた谷津田景観を保全します。
- ・丘陵地の景観を特徴づけるサンプスギなどを活かした景観形成を図ります。
- ・下総台地と九十九里平野との境目に広がる連続した斜面林の緑を保全します。
- ・保安林の再生や美化活動などを進め九十九里浜の白砂青松の景観を再生します。
- ・成東・東金食虫植物群落やハマヒルガオなど、生態系の豊かさを物語る地域固有の動植物を保全します。



【暮らしの場・まちなみ】

暮らしの場を守り、まちなみの作法をつくる

- ・ 周辺の自然と調和した屋敷林や榎の生け垣等の暮らしの緑を保全・創出します。
- ・ 成東駅をはじめ、地域の顔となる拠点において、調和の取れた景観を創出します。
- ・ 丘陵や市街地のまちなみ、田園風景等、それぞれの地域が持つ魅力や、一体感を感じることのできる沿道景観を創出します。
- ・ 自然環境と調和し、人々の憩いの場となる公園・緑地の景観を保全します。
- ・ 道の駅オライはすぬまや駅前広場等、人が集い、交流や賑わいを感じることで創出する拠点の景観を創出します。



【歴史・文化】

歴史・文化を守り、後世につなぐ

- ・文化財や古木・巨木、その他の歴史資源のある景観を保全します。
- ・歴史的資源を後世へ継承していくため、人材育成や記録作成に取り組みます。
- ・歴史的資源周辺においては、その環境に配慮したまちなみの創出に取り組みます。



【活動・人の営み】

なりわい 生業・人々の活動の輪をつなぐ

- ・市内各地で行われている自然環境保全やまちづくり活動等が交流・連携する機会を創出します。
- ・地域の特徴であり、人々の愛着を醸成する祭りや伝統芸能を、将来に引き継いでいく景観として保全します。
- ・市内各地で開かれている、四季折々の移ろいを楽しむことができるイベント等の機会を継続・充実します。
- ・農林業に見られる“人々の暮らし・営み”の景観を保全し、後世につなげます。



【眺望】

広がりのある眺望を守る

- ・ 高台や高い建物から市内を広く眺めることができる眺望を保全します。
- ・ 丘陵地や九十九里浜など、訪れた場所から眺める周辺の眺望を保全します。
- ・ 良好な眺望を体感することのできる眺望地点づくりに取り組みます。

【丘陵ゾーン】

山と共生した景観をつくる

市域の北部に位置する丘陵ゾーンには、サンプスギなどの森や谷津田、緑に囲まれた集落・住宅地をはじめ、自然と共生して営まれてきた里山の景観が見られます。そこで、良好な景観の保全や魅力の創出に向けて、暮らしと共に成り立ってきた自然を守り、人々の生活と共生できる景観をつくります。





サンプスギ並木



谷津田



日向の森



植草地区



森地区



美杉野地区



日向駅



さんぶの森公園



圏央道



長光寺



六所神社本殿



山室姫塚古墳



妙宣寺のしだれ桜



賀茂神社の大杉



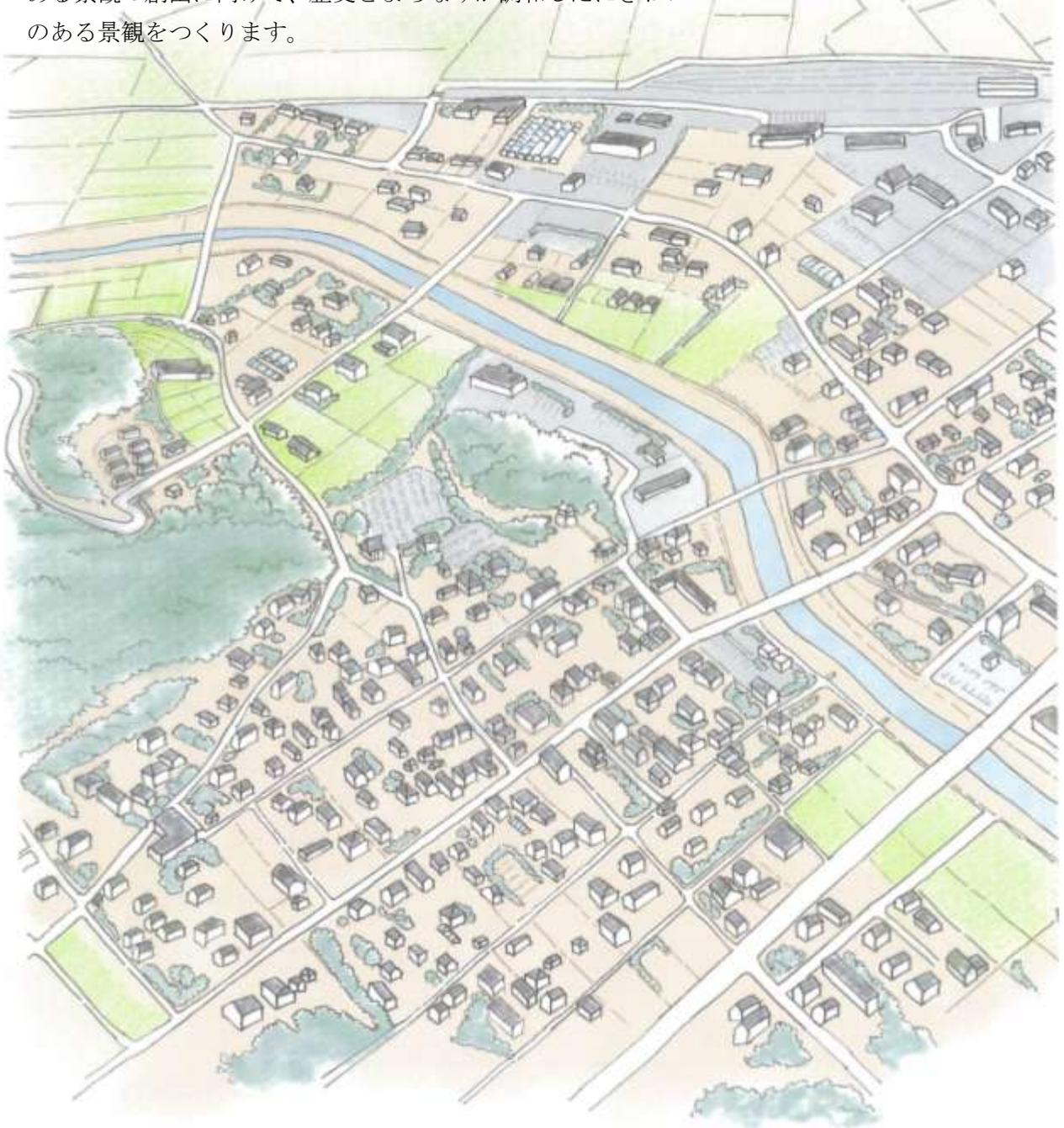
埴谷日吉神社の祭礼

- ・サンプスギなどの森や谷津田等、人の手が加わる中で保たれてきた里山について、木材資源の活用やグリーンツーリズム、市民との協働等による保全・活用に取り組みます。
- ・森地区のような緑に囲まれた風情ある集落の景観を、市民等との協働により保全に取り組みます。また、その他の住宅地について、景観に関する周知・啓発を通じて、周辺や背景の緑に馴染むような景観の形成に取り組みます。
- ・山武成東 IC や松尾横芝 IC については、山武市への玄関口として、周辺環境に配慮した整備を通じて、魅力ある沿道景観の創出に取り組みます。
- ・山室姫塚古墳や不動塚古墳等の古墳をはじめ、六所神社本殿や御嶽神社等の社寺、松尾城跡などの史跡、長光寺のしだれ桜などの古木・巨木について、その保存・活用に加え、景観に関する周知・啓発や周辺環境に配慮した整備等を通じて、一体的な保全に取り組みます。
- ・市民等による里山保全やサンプスギなどの活用等の活動について、その維持・推進に向けた支援や各団体との交流連携機会の創出を通じて、協働によるまちづくりの素地を創ります。
- ・埴谷日吉神社の祭礼や椎崎八幡神社の祭礼等の伝統行事について、保存・活用に取り組むことを通じて、地域を特徴づける生活文化として、次世代に受け継ぎます。
- ・緑の豊かさや空気の美味しさを感じることができるイベントの継続を通じて、丘陵ゾーンの景観に関する情報発信や観光振興に取り組みます。
- ・長期的な観点から、良好な景観への誘導を通じて、さんぶの森公園グリーンタワーをはじめ、周囲の自然や遠くの景色を楽しむことができる視点場からの眺望の保全に取り組みます。

【市街地ゾーン】

歴史と調和したにぎわいの景観をつくる

市域のほぼ中央、台地と平野部の境に位置する市街地ゾーンは、連続する斜面林の緑を背景に、総武本線及び国道126号沿道に市街地が広がっています。そこで、山武市の顔として魅力ある景観の創出に向けて、歴史とまちなみが調和したにぎわいのある景観をつくります。





谷津田



斜面林



石塚の森



成東駅



松尾駅



成東城跡公園



伊藤左千夫記念公園



伊藤左千夫の生家



浪切不動院



大堤権現塚古墳



大高善兵衛の墓



駒形神社の椎の木



成東高校の桜



金刀比羅神社巫女の舞



花の植栽活動

- ・平野部からのランドマークとなる斜面林について、周辺環境に配慮した整備に取り組むとともに、建物等の高さの規制・誘導を通じて、緑の連続性の確保に取り組みます。
- ・石塚の森のような歴史や風土と調和した緑の保全に取り組めます。
- ・作田川をはじめ、まちなかを流れる河川や水路について、市民等による美化活動への支援や周辺環境に配慮した整備等を通じて、親しみのある空間の創出に取り組めます。
- ・成東駅周辺について、統一感のあるまちなみへの規制・誘導を通じて、地域の顔として、新たなにぎわいの創出に取り組めます。
- ・楨の生け垣が連続する住宅地について、住民との協働等により保全するとともに、景観に対する周知・啓発を通じて、周辺や背景の緑に馴染むような景観の形成を図ります。
- ・国道 126 号沿道について、屋外広告物の規制・誘導を通じて、賑わいの中にも統一感を感じる景観の創出に取り組めます。
- ・浪切不動院等の社寺や伊藤左千夫生家等の史跡について、その保存・活用に加え、景観に関する周知・啓発や周辺環境に配慮した整備等を通じて、一体的な保全に取り組めます。
- ・市民等による河川や駅前での花の植栽等の活動について、その維持・推進に向けた支援や各団体との交流連携機会の創出を通じて、協働によるまちづくりの素地を創ります。
- ・金刀比羅神社の神楽や駒形神社の例祭等の伝統行事について、保存・活用に取り組むことを通じて、地域を特徴づける生活文化として、次世代に受け継ぎます。
- ・地域の特産品に関するイベントの継続を通じて、市街地ゾーンの景観に関する情報発信や観光振興に取り組めます。
- ・長期的な観点から、良好な景観への誘導を通じて、浪切不動院や成東城跡公園をはじめ、平野部を広く見渡すことのできる視点場からの眺望の保全に取り組めます。

【田園ゾーン】

原風景としての九十九里平野の景観をつくる

市域の南側に位置する田園ゾーンには、九十九里平野に広がる田畑の中に、生け垣や屋敷林の緑に囲まれた農村集落が溶け込む景観が見られます。そこで、大きく変わることなく保たれてきた原風景として、田園の景観をつくります。





田園



屋敷林の農村集落



桜並木



槇の生け垣



道の駅オライはすぬま



松尾工業団地



成東工業団地



飯岡片貝線



箭插神社



小柳八坂神社



勝覚寺



慈広寺 (恵比寿)



真光寺の六観音と六地藏



五所神社十二面神楽



本須賀八坂神社例大祭

- ・九十九里平野の田園について、建物等の規制・誘導を通じて、広大な空と田園とが一体となった景観の保全に取り組みます。
- ・農地を流れる用水路や木戸川沿いのあじさいなどについて、市民等による美化活動への支援や周辺環境に配慮した整備等を通じて、田園に彩りを添える水辺空間の創出に取り組みます。
- ・生け垣と屋敷林に囲まれた農村集落について、市民との協働等により保全するとともに、景観に対する周知・啓発を通じて、周辺の田園と一体となった景観の形成に取り組みます。
- ・松尾工業団地や成東工業団地について、緑化の促進を通じて、周辺環境と調和した景観の創出に取り組みます。
- ・九十九里平野の田園に見られる屋外広告物について、その規制・誘導を通じて、周辺環境と調和した景観の創出に取り組みます。
- ・五所神社本殿や稲荷神社大鳥居等の文化財や真光寺や箭插神社等の社寺について、その保存・活用に加え、景観に関する周知・啓発や周辺環境に配慮した整備等を通じて、一体的な保全に取り組みます。
- ・稲荷神社の神楽や本須賀北京塚の獅子舞等の伝統行事について、保存・活用に取り組むことを通じて、地域を特徴づける生活文化として、次世代に受け継ぎます。
- ・長期的な観点から、良好な景観への誘導を通じて、遠くに広がる斜面林の眺めや田園に沈む夕日の眺めをはじめ、平野部から広く見渡すことのできる眺望の保全に取り組みます。

【海浜ゾーン】

白砂青松とうたわれた海浜の景観をつくる

市域の南部に位置する海浜ゾーンには、ハマヒルガオが彩りを添える九十九里海岸や榎の生け垣のある住宅地、開放感のある沿道が見られます。そこで、白砂青松とうたわれた九十九里海岸の魅力創出に向けた景観をつくります。





殿下海岸



ヤシの木（本須賀海岸）



白幡・井之内海水浴場



保安林（津波被害前）



初日の出



槇の生け垣



河津桜並木



ハマヒルガオの群生



蓮沼海浜公園



伊藤左千夫歌碑



保安林の植樹活動



海岸清掃



地引網体験交流事業



ロードレース大会



サマーカーニバル

- ・九十九里海岸について、市民等による植樹活動・美化活動への支援や周辺環境に配慮した整備、地域を彩る植栽のあり方の検討を通じて、白砂青松とうたわれた、緑豊かな保安林ときれいな砂浜の広がる景観の再生を目指します。
- ・蓮沼海浜公園本須賀納屋線について、建物等の高さの規制・誘導や周辺環境に配慮した整備を通じて、開放感のある沿道景観の保全に取り組みます。
- ・伊藤左千夫歌碑や千人塚等の史跡について、その保存・活用に加え、景観に関する周知・啓発や周辺環境に配慮した整備等を通じて、一体的な保全に取り組みます。
- ・市民等による保安林の再生や九十九里浜の魅力体験等の活動について、その維持・推進に向けた支援や各団体との交流連携機会の創出を通じて、協働によるまちづくりの素地を創ります。
- ・季節感や開放感を感じることでできるイベントの継続を通じて、海浜ゾーンの景観に関する情報発信や観光振興に取り組みます。
- ・長期的な観点から、良好な景観への誘導を通じて、蓮沼海浜公園展望台をはじめ、周囲の自然や遠くの景色を楽しむことができる視点場や、雄大な太平洋を見渡すことができる眺望の保全に取り組みます。

(3) 重点地区（特定の地区に焦点を当てた景観づくりの考え方）

地域の顔・シンボルとなる地区などでは、その地区の特性を活かした景観づくりを進めていく必要があります。

そこで、市全域の景観づくりの方針等を踏まえつつ、よりきめ細かな景観形成に取り組むため、景観形成・保全に重点的に取り組む地区を重点地区として指定します。

本計画では、駅前広場や駅南口線の整備をはじめ、建替えなどによる新たなまちなみ景観の形成が期待される「成東駅南側周辺地区」を重点地区に指定します。

なお、重点地区は、今後も必要に応じて追加していくものとします。

①成東駅南側周辺地区の現状・課題

成東駅の周辺では、近年、駅乗降者数の減少傾向やバスなどの公共交通の乗り換えの不便さによる交通結節点としての機能の低下が課題となっています。

また、駅前商店街ではシャッターで閉ざす店舗が見られるなど、駅前におけるにぎわいも失われつつあり、市の玄関口としての機能も低下しつつあります。

こうした中、成東駅南側周辺地区では、魅力とにぎわいにあふれ、快適と感じられる駅周辺のまちなみの創出を目的に、平成24年に「成東駅南側周辺まちづくり協議会」が創設され、以降、まちあるきの開催等を通じて、山武市の玄関口にふさわしい駅前地区のまちなみ景観を創出するためのルール検討が進められています。



②成東駅南側周辺地区の方針

「成東駅南側周辺まちづくり協議会」では、成東の郷愁を感じられる空間を創造したいという思いを含め、「ホッと さんむ ふるさと九十九里の玄関」をテーマに、3つの景観形成の目標を掲げています。

山武市景観計画では、これらのテーマ・目標を踏まえ、重点地区における景観形成の方針を以下の通りとします。

～ 成東駅南側周辺まちづくり協議会のテーマ・目標 ～

ホッとさんむ
ふるさと九十九里の玄関

目標 1

歴史・文化資源を
活かした景観づくり

目標 2

広がる自然と
共存できる景観づくり

目標 3

人と人との交流が
生まれる景観づくり

～ 成東駅南側周辺地区の方針 ～

- 【方針 1】 落ち着いた雰囲気を受け継ぎ、ゆとりあるまちなみを創出する
- 【方針 2】 まちなみの背景に広がる丘陵地と空が感じられる風景を受け継ぎ、自然と共存できる景観づくりを推進する
- 【方針 3】 緑が多く潤いを感じる景観づくりを推進する
- 【方針 4】 歩いて楽しめる回遊性を創出し、にぎわいの雰囲気を演出する景観づくりを推進する